

中学歴史プリント（書き取り）
昭和時代（戦後）

名前

得点

/19

- | | |
|-----|---|
| 問1 | 第二次世界大戦後、自分たちの国のことは自分たちで決めるという考え方のことを何という？ |
| 問2 | 1970年の大阪万博のメインテーマは何？ |
| 問3 | 1951年に日本が主権を回復し、国際社会に復帰するために調印された条約の交渉にあたった当時の首相は誰？ |
| 問4 | 1967年、東南アジア諸国の経済成長と平和を目的として結成された組織を何という？ |
| 問5 | 第二次世界大戦後、アメリカを中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営が対立した国際情勢を何という？ |
| 問6 | 1960年代の日本で、急速な工業化と国民生活の向上を指す経済発展の期間を何という？ |
| 問7 | 1955年に保守勢力が合同して結成された、当時の日本で長期政権を担った政党は何という？ |
| 問8 | 第二次世界大戦後、日本で満年齢で選挙権を得られるようになったのは何歳以上の男女？ |
| 問9 | 1954年の自衛隊発足当時、日本が国際社会へ復帰し、驚異的な経済発展を遂げた期間を何という？ |
| 問10 | 第一次世界大戦後に設立されたものの、第二次世界大戦を食い止めることができず解体された国際組織を何という？ |
| 問11 | 戦前、国民の言論やどのような内面的な活動を抑圧するために取り締まられたのか？ |
| 問12 | 1970年、日本で初めて国際博覧会として開催され、科学技術の進歩を世界に示すきっかけとなった出来事を何という？ |
| 問13 | 1960年に多くのアフリカ諸国が相次いで独立し、国際連合への加盟国が急増したことを何という？ |
| 問14 | 企業から環境破壊による被害を受けた住民が、被害の救済と責任追及を求めて起こしたものを何という？ |
| 問15 | 1951年のサンフランシスコ平和条約に全権として調印し、戦後の日本の国際社会復帰を導いた首相は誰？ |
| 問16 | 1951年に締結され、日本の主権回復と国際社会への復帰の基礎となった講和条約を何という？ |
| 問17 | 1980年代後半に起きた資産価格の異常な高騰が、1990年代に入って一気に崩れた現象を何という？ |
| 問18 | 1955年のアジア・アフリカ会議で採択された、平和と協力に関する10の原則を何という？ |
| 問19 | 第二次世界大戦後、世界の平和と安全を維持するために1945年に設立された国際組織を何という？ |

答え合わせ・解説

問1	答え 民族自決	第二次世界大戦を経て、植民地支配を受けていたアジアやアフリカの地域で、独立を求める運動の柱となりました。自国の領土や政治体制を外部からの干渉を受けずに決める権利を指します。
問2	答え 人類の進歩と調和	大阪万博が掲げた「人類の進歩と調和」というテーマは、科学技術の進歩が単なる効率化だけでなく、人々の心豊かな暮らしや世界の平和に貢献すべきであるというメッセージが込められています。シンボルとして太陽の塔が建てられ、当時の日本の先進的な技術や未来志向の姿勢が世界にアピールされました。
問3	答え 吉田茂	吉田茂は、戦後の日本で長期間首相を務め、サンフランシスコ平和会議に日本全権として出席しました。彼が調印したサンフランシスコ平和条約により、日本は主権を回復し、国際社会への復帰を果たしました。保守的な政治家として、経済復興を優先しアメリカとの協調を重視する「吉田ドクトリン」を打ち立てた人物です。
問4	答え ASEAN	インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国によって結成されました。当初は反共産主義の色合いもありましたが、次第に経済発展のための協力関係が強まりました。
問5	答え 冷戦	両国は直接的な軍事衝突（熱戦）は避けつつ、世界各地での勢力争いや軍拡競争を行いました。核兵器の保有による「恐怖の均衡」が保たれていたため、第三次世界大戦は回避されました。
問6	答え 高度経済成長	1950年代半ばから1970年代初めにかけて、日本の経済は「高度経済成長」と呼ばれる急成長を遂げました。家電製品の普及や自動車の増産により人々の所得は大幅に増え、生活様式も大きく改善されました。
問7	答え 自由民主党	自由民主党は、保守合同によって誕生し、戦後の日本政治の基盤となりました。その後、日本社会党と対立する二大政党の構図が続き、政治的な安定がもたらされました。
問8	答え 20歳	1945年の法改正により、選挙権の制限が大幅に撤廃され、満20歳以上の男女に平等な選挙権が認められました。これにより、日本においても本格的な男女平等の参政権が実現し、国民全体が政治に参加する権利を持つこととなりました。
問9	答え 高度経済成長期	1955年頃から1973年の石油危機までの約20年間、国民総生産（GNP）が急増し、世界第2位の経済大国となりました。国民生活においても冷蔵庫・洗濯機・白黒テレビの「三種の神器」が普及しました。
問10	答え 国際連盟	本部はスイスのジュネーブに置かれました。世界平和の維持を目的としましたが、提唱国のアメリカが議会の反対で参加せず、ドイツやソ連などの参加も遅れるなど、組織としての力に限界がありました。
問11	答え 思想	「治安維持法」は、国体（天皇制）を否定する動きや、私有財産制度を否定する共産主義的な「思想」を持つ者を逮捕・弾圧するための法律でした。これにより自由な批判や反対運動が封じられました。
問12	答え 大阪万博	正式名称は日本万国博覧会で、世界中の国々が参加し、最新の技術や文化を紹介しました。多くの日本国民が来場し、科学技術に対する関心が高まりました。
問13	答え アフリカの年	1960年だけで17カ国がヨーロッパ諸国の植民地から独立を達成しました。これにより国際連合における加盟国の数も大幅に増加し、アジアやアフリカの国々が国際政治において強い発言力を持つようになりました。
問14	答え 公害裁判	四日市ぜんそくのほか、水俣病やイタイイタイ病などの四大公害病において、住民が裁判を起こしました。多くの裁判で住民側が勝訴し、企業の責任が明確にされました。
問15	答え 吉田茂	吉田茂は内閣総理大臣として、アメリカを中心とする連合国との間でサンフランシスコ平和条約に調印しました。これにより日本は主権を回復し、国際社会への復帰を果たしました。
問16	答え サンフランシスコ平和条約	1951年にアメリカなど多くの連合国と締結された条約です。これにより日本は主権を回復し、連合国軍の占領は終了しました。同時に吉田茂首相が署名し、日本は国際社会の一員としての地位を取り戻しました。
問17	答え バブル崩壊	投機によって膨らんでいた資産価格が急激に下落し、それまで借金をして投資していた企業や銀行が多額の不良債権を抱えることになりました。
問18	答え 平和十原則	インドネシアのバンドンで開かれた会議において、植民地主義への反対や、人種差別の撤廃、主権の尊重などを盛り込んだ「平和十原則」が採択されました。
問19	答え 国際連合	1945年に「国際連合憲章」が採択され発足しました。本部はアメリカのニューヨークに置かれ、総会や安全保障理事会などが主要な機関です。国際連盟とは異なり、アメリカやソ連（当時）などの主要国も当初から参加したことが大きな特徴です。